

学校部門

会長賞

鹿児島県立種子島中央高等学校

熊毛郡中種子町

団体の紹介・活動の目的

本校は、中種子高等学校と南種子高等学校が発展的に統合され、平成20年4月に開校しました。

現在は情報処理科、普通科の2学科3学級が設置されています。

情報処理科では、ビジネスに関する専門学習および難関資格試験への合格をめざした指導をはじめ、平成29年度より知的財産教育推進校としてCADを用いた授業や地域と連携した様々な取組等特色ある教育活動を実践しています。

令和元年度に本校が「地域創生人材育成プロジェクト」の指定校となり、知的財産教育と種子島の観光を融合し、新学習指導要領にある「観光ビジネス」の先進的な取組として活動を行いました。

活動の内容

私たちは、「地域創生人材育成プロジェクト」事業を通して「人と人(地域)とのつながり」を経験することで、新しい「たねがしま」の魅力を探知し郷土への誇りを育て、そして、鹿児島県の将来を担う人材としての自覚を持ち、次世代の地域を支え、発展に貢献するリーダーとしての存在になることを目標としました。

年間を通して「観光パンフレットの製作・配布」、「CADを活用した立体POPの製作・設置」、「高校生ホテルの企画・運営」、「おもてなし」活動、環境・食育活動の推進、「宿泊プランの企画・販売」、「生徒ディベート」を行いました。

連携・協力している団体など

熊毛支庁、中種子町役場、南種子町役場、中種子商工会議所、種子島観光協会、種子屋久農業協同組合、大和温泉ホテル、種子屋久ツーリスト、(有)てらだ書店、(株)タカラニコー、楽天株式会社鹿児島支社、山浦製茶、鹿児島ホテル短期大学校。



【「おもてなし」活動】

「第59回2019ミスインターナショナル世界大会」の参加者から観光特使に任命された3名へ生徒が種子島茶を提供し、英訳したパンフレットを用いて、英語で説明しました。



【観光パンフレットの製作・配布】

「アクティビティ」「食べ物・雑貨」「景観(SNSでの活用を意識した内容)」のテーマで、それぞれの名所や店等をピックアップし、観光パンフレットの作成を行いました。



【高校生ホテルの企画・運営】

大和温泉ホテルにおいて、生徒が宿泊客の接客・館内管理・夕食メニューの開発と提供等を行いました。高校生ホテルの企画・運営は、全国3例目であり九州初の取組でした。



【CADを活用した立体POPの製作・設置】

立体POP(顔出しパネル)を製作し、種子島空港に設置しました。製作過程では、(株)タカラニコーからテレビ会議システムを用いて、CADの実践的な指導を受けました。